



歩行者の安全

道路上での幼児の安全確保



歩くことは子どもたちの生活の重要な部分です。それは彼らの健康と体力、そして近所を自力で移動する能力にとって重要です。

歩行者として道路を歩くことは、特に交通量の多い都市部では、お子様にとって危険を伴うことがあります。道路は大人を考慮して設計されていますが、子供は「小さな大人」ではありません。子どもの脳はまだ発達途中であるため、周囲の危険を完全に理解できず、「安全な」判断ができない場合があります。

子どもたちに良い手本を示す

- ✔ 一緒に道路を渡るときは何をしているのか説明してください。
- ✔ 「速い」、「遅い」、「近い」、「遠い」などの単語について説明します。標識や信号、安全に横断できる場所について話してあげましょう。
- ✔ 危険な場所や横断してはいけない場所を指摘します。たとえば、道路の曲がり角の近くや、子供が隠れている可能性がある場所です。
- ✔ お子様が車に乗ったり降りたりする際には必ず縁石側（安全ドア）から乗り降りし、交通の近くでは常にお子様の手を握ってください。





お子様に道路を安全に渡る方法を教えてください。

お子様の手を握り、全方向の交通状況がよく見え、ドライバーからも見える安全な場所を選び、SLLT手順に従ってください。

SLLTとは?



STOP 立ち止まる



見る



聞く



考える

道路が空いているか、交通がすべて停止したら、道路をまっすぐ渡り、横断中は交通に注意し、注意しながら進みます。

i お子様には、私道や駐車場を渡るときも、それらを小さな道路として扱い、同じ手順（止まる、見る、聞く、考える）を実践するよう教えましょう。歩道と交差する私道では、後退してくる車がないかを必ず確認します。

👉 忘れないでください:

- 最も安全なルートを通って一緒に学校へ通い、安全な横断場所を子供に模範として示してください。
- 保護者が学校に迎えに来るときに、お子様が待つための安全な待ち合わせ場所を選択してください。決して道の反対側から声をかけないでください。彼らと手をつないで道を渡ってください。
- 可能な限り、外出時にはお子様に目立つ服を着せるようにしてください。

